

2020年度 学校自己評価シート（慶應義塾志木高等学校）

目指す学校像	独立自尊の気風を養い、自主性のある、品格の高い、明るい塾生を育成する教育を行う。
--------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な学問の習得 2 個性と能力をのばす教育 3 学校行事とクラブ活動の充実 4 開かれた学校づくりの推進
------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇談会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	事務局（教職員）	1名

学 校 自 己 評 価				
2020年度 目 標			2020年度 評 価 (2021年3月31日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	将来、社会の各分野で先導者として活動するため、また慶應義塾大学に進学する前段階として基礎的な学問を習得させ、学問・研究の必要性を理解させるとともに、自主的に学習するように指導する。特に大学一般教育課程に応じた学習指導に留意し、学力の全体的向上を図る。	基礎的な学問を習得させ、学問・研究の必要性を理解させるとともに、自主的に学習するための指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各教科部会におけるきめ細かい指導方針の確立と実践 必修科目、選択科目、多様な語学科目を充実させ、幅広い学問的好奇心等の要求に対応 	<ul style="list-style-type: none"> 教科責任者会議において情報共有化と学習指導方針のすり合わせを図る。 一人一人に教員の目が届くと同時に、生徒同士の多様な「交際」の場も確保するため、2年生のクラス編成を従来の6クラスから8クラスに変更し、1クラスあたりの人数を30～31名とした。 2年の現代文Aでは、近代文学を思想史・政治史と関連させて同時代を多角的に考察した。 2年の古典A（3クラス）では、日本の伝統文化を知識と体験の両面から理解することを目指した。「お香」を題材に、お香が登場する古典を読み解くとともに、天然香料を用いて生徒自身が調合を行い、匂い袋を作る実習を行なった。 3年の日本史B（3クラス）では、レポート課題を通して、国内に残る歴史的な文化財について、主体的に考える機会を提供した。 数学教育に関して、2009年度より高大連携教育の一環として行なわれている、本塾大学理工学部の数学の授業（学部1年生対象）が聴講できる制度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、今年度は実施されなかった。 2014年度より高大連携教育の一環として行われている、本塾大学文学部日吉キャンパス設置科目（一部）が履修できる制度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、今年度は実施されなかった。 2011年度より理科教育の一環として長野県諏訪市～新潟県糸魚川市周辺において、水質調査やジオパークの見学等、生物・化学・地学・物理の実習を行なっている。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、開催中止とした。 2012年度より、3年生生物の授業（単元：進化と系統）の一環として、校内自然観察会のインストラクターを希望した生徒への集中講座と観察会におけるインストラクションを実施してきた。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、自然観察会自体を開催中止とした。 英語教育に関して、全学年でクラス分割が実現し、ネイティブ・スピーカーによる授業も増え、インタラクティブな時間が更に増えた。 オンラインの多読・多聴システムを導入し、英語に楽しんで触れる機会の増加を図った。 語学教室の改装を行なった。情報機器を用いることにより、即時的なフィードバックと意見共有が可能になった。特に繰り返しエッセイを書くことによりライティング能力が向上した。 『樺』第29号を発行して、部活や生徒会などの活動報告および授業などで作成した作品やレポートの発表の場を生徒に提供し、教員はその指導を行なった。
				<p>【基礎的な学問の習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年・全教科において、特に対面授業が制限されていた期間、Google Classroom (Googleが提供するオンライン学習システム) 及び本校ウェブサイトを利用して、課題の提示・指導・回収、授業内容の補足等を行うように努めた。 <p>【必修科目】</p> <p>←各部会ごとの達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒側の多様な通信環境に配慮しつつ、オンライン授業の可能性について一層検討する。 継続的な資料収集・調査などの教材研究を行なう。
				達成度
				次年度への課題と改善策

学校関係者評価	
実施日	2021年5月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
基本的には、極力対面授業、部活動の実施をお願いしたいと思いますが、コロナ状況の変化終息が見通せないことから、より双方向性のあるオンライン授業等の検討・準備をお願いいたします。Google classroomを用いて比較的早くから課題などを出していただいたこと、感謝しています。	
少人数制ということですので、例えば少人数ゼミやレポートの個別指導などより一層のご指導をしていただけたらと思います。	
普段触れることのない「お香」という伝統文化を経験することにより、様々な古典文化にも興味を持つことを期待します。	
レポート課題は有意義ですしコロナの影響を比較的受けない学習として重要度が高いと思います。	
コロナ状況を踏まえての判断は尊重いたしますが、本学の特徴を活かす観点から、可能な範囲で早期の再開をお願いいたします。個人で大学から資料を取り寄せて調べてみましたが、今ひとつ良くわからなかったので、大学での学部研究等をやっていたらと有難く思います。	
大学への進学を見据えた指導を増やしていただければと思います。各学部や各キャンパスの情報を更に多く生徒に提供してほしいと思います。3年生だけではなく1、2年のうちから考える機会をより一層設けていただきたいと思います。	
コロナ状況を踏まえての判断は尊重いたしますが、本学の特徴を活かす観点から、可能な範囲で早期の再開をお願いいたします。	
コロナ状況を踏まえての判断は尊重いたしますが、本学の特徴を活かす観点から、可能な範囲で早期の再開をお願いいたします。	
英語については、英語圏への滞在経験の有無など、個人差が大きい分野なので、極力個人の能力差習熟度に合わせた対応を目指していただきたいと思います。	
英語に限ったことではないが、使用しない教科書は購入させないでほしい。全く使わずに終わるものがあると聞いた。	
『樺』は活動報告や生徒の作品やレポートなどとても興味深いものです。是非継続していただきたいです。今回、2年生のG組・H組の委員の名前が記載されていなかったようです。	

学 校 自 己 評 価					2020年度 評 価 (2021年3月31日現在)		
2020年度 目 標					2020年度 評 価 (2021年3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
					<p>【学問・研究の必要性】</p> <p>・文学特論では、エンターテインメントを文学史・哲学史と接続することで総合的に把握した。</p> <p>・日本語特論では、ネーミングやコミュニケーションなど社会の中に溢れることばについて心理学の知識を導入しながら探究した。</p> <p>・社会Aでは、日本美術史をテーマに、オンラインと対面授業で、美術作品の見方、仏教美術の基礎知識を学んだ後、口頭発表と研究レポートの作成に取り組んだ。</p> <p>・英語Aでは、様々なメディアを通してアメリカの文化・歴史・言語への理解を深めた。</p> <p>・英語Bでは、基本的な文法事項及び慣用表現の習得を目指し演習を行った。</p> <p>・英語Cでは、ネイティブ・スピーカーによるエッセイの添削指導を行った。</p> <p>【総合的な探究の時間】</p> <p>・24言語の「ことばと文化」を通して、各国の文化、伝統や言語を学ぶ機会が多くあった。</p> <p>【語学課外講座】</p> <p>・単位とは関係のない語学課外講座においても、履修者数は7限130名、8限78名で約18%の生徒が学びを深めた。</p> <p>【全体的な学習環境の充実】</p> <p>・例年、本校主催による学部説明会や、本塾大学各学部主催による説明会・見学会や模擬授業が実施されているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くがオンライン・オンデマンドなどのスタイルに変更された。</p> <p>・『志木高案内』2020年度版を新規に作成し、生徒の学校生活における利便性の向上に努めた。</p> <p>・「災害対応に関する教職員マニュアル」2020年度版を整備し、緊急対応の体制を充実させた。</p> <p>・『研究紀要』第51輯、『ことばと文化』第25号を発行し、教育・研究の発表の場とした。</p>		<p>【選択科目】</p> <p>・各講座の特徴をより効果的にアピールし、総合的な探究の時間では様々な未知の言語・文化との出会いを、課外講座ではより専門的なことがらにふれる機会を提供する。</p> <p>・卒業後の進路について考える機会を増やす。</p>
2	現在の生徒数による教育の長所を生かし、教員と生徒との人間的接触につとめながら個性と能力をのばす特色ある教育を行う。	教員と生徒との人間的接触につとめながら個性と能力をのばす特色ある教育の実践	・精神面においては、クラス担任のみならず全教職員、医師、スクールカウンセラーによるきめ細かい指導の実践	・教員会議において生徒の現況の情報共有化を図り、と協力体制を構築する。	<p>【特色ある教育】</p> <p>・2012年度からオーストラリアのToowoomba Grammar School、2014年度から台湾のWego Private Bilingual Senior High School、2015年度からフィンランドのLuostariyuoren Lyseon Lukioとの国際交流（短期交換留学）を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、全ての交流事業を中止した。</p> <p>・アメリカ、ハワイ州のPunahou SchoolにおけるSGLI（Student Global Leadership Institute）は、現地でのワークショップは中止になったものの、参加予定だった生徒3名は国内で活動を継続し、2020年12月のHRにおいて文書で成果報告を行なった。</p> <p>【ストレスケア】</p> <p>・例年、教職員・医師・カウンセラーらがチームとなって、様々な問題を抱えている生徒に対応している。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、生徒の心身への影響が懸念される中、夏季休業中のカウンセリングルームの開室日数を増やし、緊急事態にも対応できるよう配慮した。</p>	B	<p>・Toowoomba Grammar School、Wego Private Bilingual Senior High School、及びLuostariyuoren Lukioとの国際交流事業の再開に向けて検討を行なう。</p> <p>・SGLIを通じて、英語が得意な生徒の意欲・能力をさらに高める。</p> <p>・本校生徒にみられる精神的成長（その過程で生じる不安感や悩みなども含む）の特徴を調査・分析し、今後の教育活動に活かす。</p>

学校関係者評価	
実施日	2021年5月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
	<p>志木高のこの講座以外では触れることができない言語が多く、生徒からも魅力的な講座だと思います。故に、極力生徒が希望する講座を選択できるようご配慮をお願い致します。</p> <p>24言語から選べるというのは必要性が感じられない。愚息に限って言えば、あれこれ毎年選んで身につけてない。中国語を3年間とかだと少しは上達するのではないか。希望の言語を学べないのでは、24言語あっても意味がないかと思います。</p> <p>説明会・模擬授業等は進路を考えるうえで有用な機会ですので是非継続いただくとともに、オンラインオンデマンドでも、より臨場感をもって体験できるよう検討願います。</p> <p>コロナ禍のため保護者に情報があまり伝わってこなかったため、この志木高案内は大変役に立ちました。</p> <p>地味ですが極めて重要な取り組みを継続いただいています。引き続き、形骸化しないよう取り組んでいただくことをお願いします。</p>
	<p>本分野を重視いただいています。個人情報やカウンセリングを受けた方に配慮いただいたうえで、一般的な注意事項や事例の紹介など、家庭でも気を付けるべきことなど、啓蒙活動も充実させていただくと有益だと思います。</p> <p>生徒が「教室から見える景色が、ほんとに綺麗で、感動する。雨があがった後などは、さらに綺麗で、木と木の間から見える花を見ているとほんとに癒される。」と。教室の位置が良いらしく、周りの友達、先生も仰っていたとの事。男子生徒を感動させる景色、次の保護者会では絶対に見ようとおもった。HPに載せていただけると有難いと思います。コロナ禍にはもってこいの教室なのではないでしょうか。</p> <p>昨年は1学期がほぼ通学できない中の対応を感謝いたします。現在でも約半年通学できず、部活動も制限された影響を生徒は受けていますので、引き続き注意を払っていただきますようお願いいたします。</p> <p>このような状況のため、生徒のストレスは予想以上だと思います。より一層のご配慮をお願いします。</p>

学 校 自 己 評 価					2020年度 評 価 (2021年3月31日現在)		
2020年度 目 標					達成度	次年度への課題と改善策	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
3	生徒を多様な学校行事とクラブ活動等に参加させることにより、良好な人間関係や規範意識を育成し、積極的に心身の健康の増進を図り、リーダーシップを培う教育を行う。	生徒が自主的に学校行事、各人に適したスポーツ、アート、リサーチ、各種のプロジェクト等に参加するための指導の実践	・学級担任会、生活委員会、体育部会・文化部会等においてきめ細かい指導方針の確立と実践 ・学校行事、体育系・文化系クラブ活動の選択肢の充実	・HR活動、生徒会活動、体育系・文化系クラブ活動においての適正な指導を図る。	<p>【多様な学校行事】</p> <p>・生徒向けにBLS講習会を実施し、日常生活の中での健康危機に即座に対応できるように努めた。</p> <p>・例年、学校行事を催すにあたっては、生徒の自主的な活動をサポートする形で、自己表現と団結の時間・場所を共有することに努めている。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、体育行事はすべて中止となったが、収穫祭（文化祭）は生徒がオンラインでの開催に向けて努力し、実施することができた。</p> <p>・10月、本塾大学理工学部教授である枇々木規雄氏を招いて、第128回志木演説会を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で、当初予定していた7月から延期、枇々木氏には予告編の作成をお願いし、生徒はオンラインで視聴した。当日は学年別開催とし、「数理工術でお金を科学する～金融工学への招待～」という演題で講演いただいた。身近なお金に関する問題を、専門的な知見を交えてわかりやすく解説いただいた。</p> <p>・12月、ドキュメンタリー映画『タリナイ』の監督である大川史織氏を招いて、第129回志木演説会を開催した。限られた時間内で実施する必要から、生徒には事前にオンラインで映画『タリナイ』を視聴できる機会を設け、事前アンケートで監督への質問・感想等を募った。当日は学年別開催とし、1年生には「自分のことばで戦争について考える」、2年生には「戦争の伝え方を考える」、3年生には「戦争映画の届け方を考える」という演題で、アンケートに答える形で対話型のきめ細やかな講演をいただいた。</p> <p>【生徒会活動】</p> <p>・例年、生徒会活動の一環として、正門前や校内で「緑の羽根募金」を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、募金活動はできなかった。</p> <p>【クラブ活動】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年度、クラブ活動は大きく制限せざるを得なかった。保健室のアドバイスを得て、感染予防を第一にしつつ、各クラブの特性にも配慮しながら、可能な活動のあり方を模索した。</p> <p>・ゴルフ部が関東大会の個人戦（特別大会）に出場した。</p> <p>・端艇部が関東高等学校選抜競漕大会埼玉県予選会（新人大会）において、男子ダブルスカルAクルーで準決勝4位、Bクルーで準決勝3位、男子舵手つきクォドルブルAクルーで決勝2位（関東選抜出場）、Bクルーで準決勝3位の戦績を取めた。 また、関東高等学校選抜競漕大会では、男子舵手つきクォドルブル決勝Aで4位の戦績を取めた。</p> <p>・スキー部が、関東大会（大回転）に出場の予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大会が中止となった。</p>	B	<p>・健康管理を徹底する。</p> <p>・体育行事については、社会状況を注視しつつ、保健室と連携して実施可能な形態について検討する。</p> <p>・収穫祭については、生徒の自主性を尊重しつつ、開催のあり方についてあらためて検討する。</p> <p>・社会状況の変化に応じて、その都度、可能なクラブ活動のあり方について引き続き検討する。</p> <p>・各クラブ活動の様子をウェブサイトなどに掲載し、情報を充実させる。</p>

学校関係者評価	
実施日	2021年5月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>収穫祭のオンライン開催など、多くの行事がなくなる中、生徒の励みになったと思います。ご支援に感謝申し上げます。今後も、極力多くの行事を工夫して維持していけるよう、お願い申し上げます。今回は是非実際に開催出来ればと思います。運動会、旅行など、2年連続で中止でしたらさすがに残念でなりません。行政からの依頼との調整は大変だと思いますが、どのような形でもよいので思い出残る高校生活になればと思います。</p> <p>コロナ禍の状況下、学年別での開催に協力いただいた関係者の方に感謝申し上げます。</p> <p>とても興味深いお話だったと聞きました。このような講演は是非継続していただきたいと思います。</p> <p>部活動は日本の学校教育の中で、人間性や協調性を養い友情を育む素晴らしい点だと思っておりますので、引き続き、活動を可能な限り実施できますようご尽力をお願い申し上げます。</p> <p>今後益々の活躍を期待しております。</p>	

学 校 自 己 評 価							
2020年度 目 標			2020年度 評 価 (2021年3月31日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
4	ホームページ等で情報を有効に発信し、学校行事、学校施設等を開放するとともに、本校生徒が小学校、中学校、養老施設等を訪問し、交流を図る。	家庭、地域社会に対する積極的な情報の発信、オープンキャンパスの実施、生徒の積極的な地域活動への参加	・各委員会の連携と内容の充実	・教員会議において活動状況の情報共有化と協力体制を図る。	<p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『学校案内2021』を刊行した。 公式ウェブサイトおよびFacebook・Twitterのアカウントを引き続き活用し、情報の提供に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、PTA総会は中止、学校説明会はオンラインによる開催となった。なお、保護者会についても7月は中止とし、12月は学年単位で時差開催とした。 2011年11月より、モニタリングポストを設置し、放射線量計測を自動化するとともに、計測値をウェブ上で誰もが見られるような形にして、情報公開を継続中である。 自己推薦入試の1次・2次試験の合格発表を今年度新たに、一般・帰国生入試の1次・2次試験の合格発表を昨年度に引き続き、ウェブサイトでも行なった。いずれもアクセス集中に対応するため、本校ウェブサイトとは別に合格発表用サイトを作成した。 <p>【授業に絡めた地域理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種小論文コンクール等への参加や出品を、積極的に行なった。 <p>【クラブ活動を通じた地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワグネル・ソサエティー男声合唱団は、今年度も和光市での東日本震災復興支援コンサートに参加した(3月14日、サンアゼリア大ホール)。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けての開催であったため、自治体の要請を遵守し感染対策を十分にとりながら、地域との交流をはかった。 器楽部が「第22回定期演奏会」(3月20日、志木市民会館)を開催した。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、観客については、生徒が招待する保護者等に限定して行なった。 <p>【学校行事を通じた地域交流】</p> <p>【学校施設を利用した地域交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年、近隣(志木市、朝霞市、新座市)在住の方々を対象とした校内自然観察会を5月と9月の2度開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、2回とも中止とした。 例年、近隣小学校および保育所に本校の敷地を一部開放し、どんぐり拾い等の行事に供しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 年に数回近隣のラグビースクールにラグビー場を使用してもらっているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。 <p>【学校いじめ防止基本方針に基づく取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針に基づく調査を実施し、教員会議において複数回議論を行なった。また、今年度も学校自己評価と併せて校内掲示にて周知した。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> OBや一般市民向けの本校教員による公開講座実施などの可能性の検討が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式ウェブサイトにおいて、クラブ活動の戦績紹介・活動報告等をより積極的に行えるよう、仕組みづくりを検討する。 各種コンクール・コンテストなどへの個人・グループでの応募を積極的に奨励していく。

学校関係者評価	
実施日	2021年5月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
評議員会、総会、保護者会について、各方面とのすり合わせが有ることはと思いますが、理事として各評議員の方から、質問を受けることが多かったため、もう少し早く連絡をいただきたかった。ただ、コロナ対策について頂いたお手紙には感動しました。生徒のことを1番に考えて下さっていることがよく解りました。志木高を選んで本当に良かったと思います。	
地域との交流は、学校・生徒を理解いただくうえで大変重要なことです。コロナ環境下でも継続いただいたワグネル・ソサエティーはじめ関係の皆様へ感謝申し上げます。	
専門分野を持った教員の方が多いので、公開講座の実施、ぜひご検討ください。	
地域の方々に学校をご理解いただくとともに、学校の特色をアピールできる大変すばらしい試みだと思います。是非継続いただきたいと思います。	
状況を踏まえつつ再開してほしいと思います。グラウンドを利用いただいた方の中から、本校を志望してもらえるとよいと思います。	
重要な取組だと思います。形骸化しないよう、継続していただきたいと思います。	